健康保険組合から加入者の皆様へ

ジェネリック医薬品で お薬代の負担が軽くなります

慢性疾患等で治療を受けている場合、お薬代の負担は決して少なくありません。
価格の安いジェネリック医薬品を利用すると、お薬代の負担が軽くなる可能性があります。
同封の「お薬についてのお知らせ」で、ジェネリック医薬品を使用した場合のお薬代をお知らせしています。是非ご覧いただき、ジェネリック医薬品の使用をご検討ください。

Q&A ジェネリック医薬品とは?

Q1 どんなお薬?

A 特許の切れた新薬と**効能が同等**で、**効果も安定**している ことを 証明して 販売される お薬です。



Q2 どうして安いの?

A 新薬より経費を要さずに、短期間で開発・製造できるため **割安**です。
3割以上、中には 5割以上薬代が 安くなる薬も あります。



Q3 安全なの?

A 厚生労働省の定める **品質・有効性・安全性** の審査に**合格し**、**製造管理**及び**品質管理**に関する **基準も満たした** ジェネリック 医薬品のみが 販売されています。



もっと詳しく知りたい場合は、次のホームページをご参照ください。

- **日本ジェネリック医薬品学会・バイオシミラー学会「かんじゃさんの薬箱」**…… http://www.generic.gr.jp/
  「かんじゃさんの薬箱　モバイル版」…… http://www.generic.gr.jp/m/
- **厚生労働省「後発医薬品（ジェネリック医薬品）及びバイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進について」**
  …… https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/kouhatu-iyaku/index.html
- **日本ジェネリック製薬協会** …… http://www.jga.gr.jp/

※上記のホームページは、各運営機関により内容の変更や終了となる場合があります。

ジェネリック医薬品への変更

STEP 1 処方箋の確認

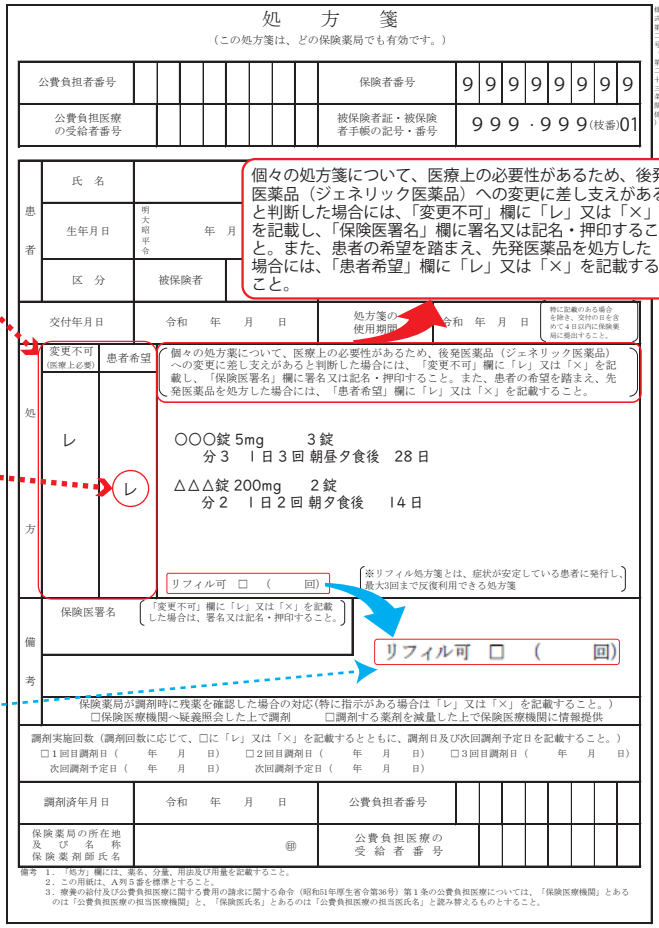
先発医薬品が処方されている場合は、医療上の必要性、或いは患者希望のいずれかの欄に、「✓」又は「×」が記されています。

STEP 2 薬局の薬剤師へ相談

患者希望の欄に、「✓」又は「×」が記されている場合は、「ジェネリック医薬品」へ変更できます。変更を希望される場合は、薬局で薬剤師に、ジェネリック医薬品への変更希望をお伝えください。

“リフィル処方せん”とは、症状が安定し、通院を控えても大丈夫と医師が判断した場合、１枚の処方箋で、繰り返し薬を受け取ることができる仕組みです。詳しくはこちらまで。

（※）すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。変更できない場合もあります。



ジェネリック医薬品はこんなに経済的

お薬の種類		先発医薬品	ジェネリック医薬品	差　額
アレルギーの薬	１年分のお薬代	14,400円	7,200円	7,200円
血圧を下げる薬		10,800円	7,200円	3,600円
痛み止めの湿布薬（１日１枚の場合）		10,800円	7,200円	3,600円
いわゆる抗生物質（抗菌薬）	５日分のお薬代	900円	600円	300円
眼のかゆみを抑える薬（点眼薬）	目薬１本分のお薬代	370円	160円	210円

■ 2026年4月時点の薬価や制度に基づいて算出しています。
■ お薬の種類ごとに、一般的に使用される医薬品にて、先発医薬品を使用した場合とジェネリック医薬品を使用した場合及びその差額のお薬代を、薬局や医療機関が請求する際のお薬代（10割）で試算しています。
■ この表示金額のうち、健保は7割（8割）を負担し、患者さんの負担は3割（または2割）です。
※健保の財源は皆様の保険料です。保険料の効果的な使用にご協力ください。
■ 患者さんの負担は、国や自治体の助成制度などにより異なることがあります。
■ 国が指定する特定の先発医薬品を患者さん希望で使用した場合、「特別の料金」が発生します。